歌って遊んで英会話

学生と触れ合いながら英語を学ぶ児童

富山外専生 小学生の指導実習

富山外国語専門学校（吉田久夫校長）の学生が講師を務める英語活動教室が二十八日、富山市柳町小学校（永森悦子校長）であり、学生が児童と交流しながら英語を教えた。

英語指導の技術を学ぶ学生の実習に合わせて、児童に英語学習に興味を持ってもらおうと同専門学校が初めて開いた。

この日は同専門学校実務英語科の二年生五人が講師を務め、同小の五年生十一人に英語を指導。自己紹介や「元気です」「お腹は空きました」「疲れました」など簡単な英会話を歌を使って教えた。

この後、ゲームを通してクラゲやヒトデなど海にすむ動物の名前を覚えた。学生と児童は和やかな雰囲気で触れ合っていた。

同専門学校二年の浅地慶大さんは「児童の注意を引くのが難しかったけど、積極的に授業に参加してくれてやりがいを感じた」と話し、黒田大貴君（同小五年）は「お兄さんとお姉さんと遊びながら勉強ができて楽しかった。英語が好きになった」と話していた。

同教室は二十九、三十日も同小学校で開かれ、別の学生が講師を務める。

涼呼ぶ 霧のシャワー

グランドプラザ 来月末まで稼働

富山市総曲輪の全天候型広場「グランドプラザ」は二十八日、暑さ対策のため、霧を噴射する装置「モイスチャーミスト」を二基設置した。八月三十一日まで稼働させ、場内温度の変化や来場者の反応などを調べ、来年度以降の本格導入を検討する。

同広場はガラス張りの空間のため日差しが強く、来場者から暑さ対策を求める声が相次いでいる。市は全国のデパート、駅、病院などで使用実績のある霧噴射装置に着目し、業者からリースを受けることにした。

「モイスチャーミスト」はきめ細かな霧を噴射する装置。霧が蒸発する際の気化冷却効果とそよ風によって体感温度を三―五度下げるといわれる。

一基で約二百四十平方㍍の範囲をカバーする。リース料は二基で約百万円。

当面は広場の南北に一基ずつ配置し、午前九時―午後六時に稼働させる予定。

市都市再生整備課は「電気代や水道料などランニングコストが低い。効果が確認できれば装置の購入を検討したい」と話す。

グランドプラザの暑さ対策のため設置された霧噴射装置

富山ワイド

全国の城 写真で紹介

富山市赤田新町の自営業、中保理さん（75）の写真展「日本の城を訪ねて」が同市堀川町の北陸銀行南富山出張所で開かれている＝写真。8月20日まで。

中保さんが過去10年間に撮影した写真約60点が並ぶ。松本城や姫路城、彦根城など現存天守のある12城を中心に、全国各地の城の四季折々の姿

を写した。

それぞれの作品には解説が付いており、城を建てた人物や、建築様式など、城に関する歴史が学べる展示となっている。

中保さんは「城は日本独自の造形美。多くの人に城の美しさを伝えたい」と話している。

懐かしい東京五輪

東京オリンピックの記念品展が、富山市桜橋通りの北陸銀行電気ビル支店で開かれ、訪れた人の目を楽しませている＝写真。8月29日まで。

8月8日に開幕する北京五輪に合わせて、同市羽根の玉井行夫さん（70）が昭和38、39年に集めたコレクションから7点を展示している。

バレーボールや柔道など選手が競技する姿が描かれた切手や聖火リレ

ーが行われた各都道府県の郵便スタンプを押した絵はがき、ポスターなど7点が並び、東京五輪を伝える品々に訪れた人は興味深く見入っていた。

いのちの塔 愛称を募集

とやま・いのちの塔建立実行委員会（中尾哲雄会長）は、命を尊ぶ社会づくりのシンボル「とやま・いのちの塔」の愛称を募集する。

「とやま・いのちの塔」完成予想図

塔は富山市ク（富山市古る。射水市の彫さんが県内のアを基にデザ期間は八月二一人一点の応は九月二十八日表される。塔

ニンジン皮むき難し

光陽校区で親子料

手軽に栄養を取り入れる食事作りを学ぶ親子料理教室が二十八日、富山市光陽公民館で開かれた。親子三十五人が参加し、市食生活改善推進員の三人から教わりながら、バランスの取れた料理を作った。

参加者は「ミルクハンバーグ カレーソース」と「キャロットサラダ」「ミルクコーンスープ」「の四品に挑戦ら教わりながハクサイを切ーグの生地を

調理後、参を囲み、料理親と妹と参加五年の早風知ンの皮むきがど、楽しかっ